

第 4 章

市民意見

第4章 市民意見

1. 公共施設に関するアンケート調査

(1) 調査概要

本計画の策定に当たり、公共施設の今後の在り方等について検討を進めるため、各地域の市民の方々の幅広い意見・意向を反映させることが必要であることから、無作為抽出した18歳以上の市民を対象に、公共施設の利用並びに今後の在り方に関するアンケート調査を実施しました。

調査地域	本庄市全域
調査対象	市内在住の満18歳以上の市民 (令和4年12月1日現在)
調査方法	配布: 郵送 回答: 郵送回答 インターネット接続PC及びスマートフォン等の利用による回答(Web回答)
配布数	3,500人 (住民基本台帳に基づく無作為抽出)
実施期間	令和4年12月1日～12月30日 (回答延長期間含む)

1) 回答数

本調査の配布数及び回答数は以下のとおりです。

【公共施設に関するアンケート調査配布数及び回答数】

配布数: 3,500件	回答状況	有効データ数	回答率
Webアンケート回答数	438件	1,520件	43.4%
紙面回答数	1,125件		
合計	1,563件		

2) 調査項目

- ①回答者属性
- ②公共施設(8類型)の利用状況と満足度(サービス面・建築物や設備・立地状況)
- ③公共施設に対する考え方(今後の在り方、統合・削減していくべき施設、優先的に維持・充実していくべき施設、重視すべき公共施設に関する施策・事業)
- ④自由意見

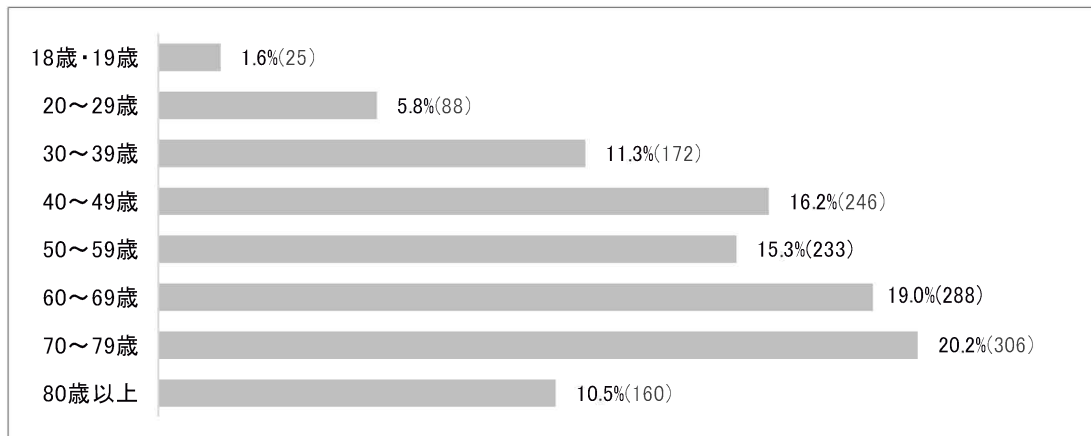
(2) 調査結果（抜粋）

1) 回答者属性

【年齢】

回答者の年齢は 18 歳・19 歳が最も少なく、60 代と 70 代がそれぞれ約 20%を占めています。

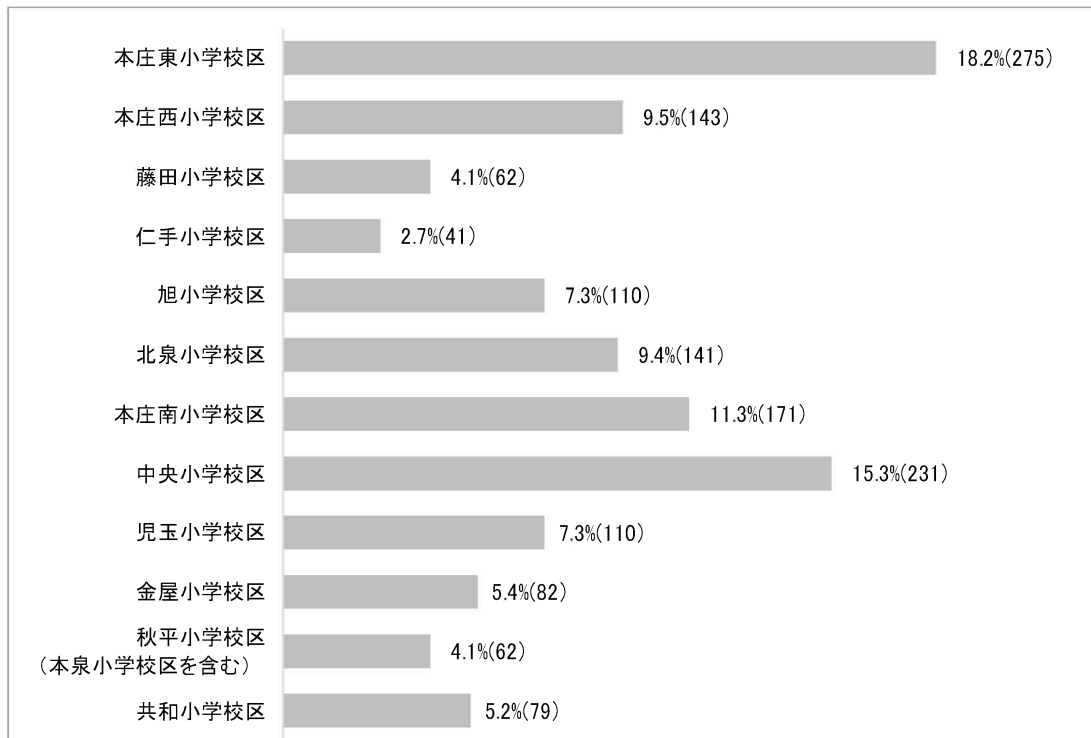
【回答者の年代比率】



【居住地区】

回答者の居住地区は「本庄東小学校区」が最も多く 18.2%となっており、「仁手小学校区」が最も少なくなっています。

【回答者の居住地区比率】



【調査結果（抜粋）に関する備考】

※()内は回答数となります。

※一部グラフ中の数値は一部のグラフ中の数値は四捨五入の都合上、合計値が 100%にならない場合があります。

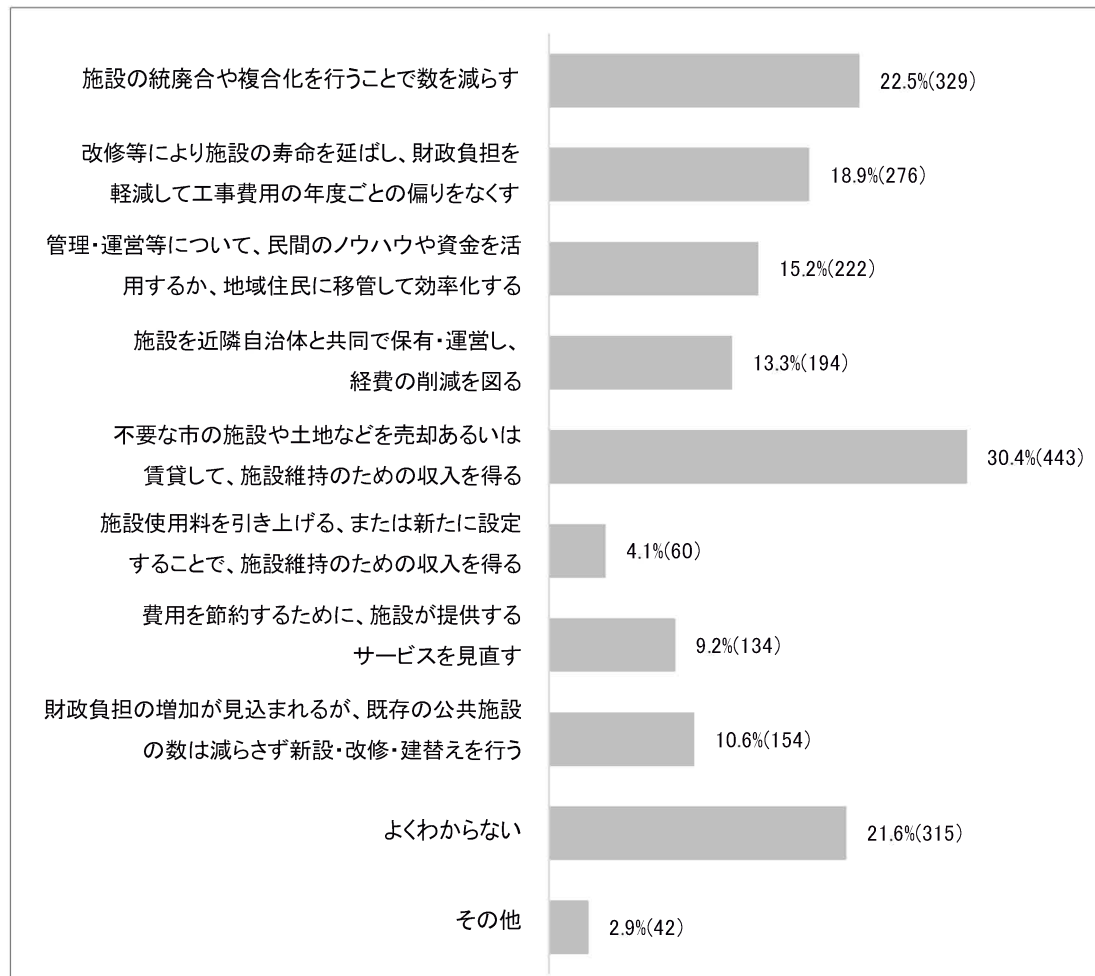
※複数回答の設定の場合、有効回答(1,520 件から無回答を除く)で割り戻しているため、合計は 100%になりません。

2) 公共施設の在り方

公共施設の在り方に対する今後の方策としては、「不要な市の施設や土地などを売却あるいは賃貸して、施設維持のための収入を得る」が最も多く 30.4%となっています。

次いで「施設の統廃合や複合化を行うことで数を減らす」の回答が 22.5%となっています。

【公共施設の在り方(複数回答)】

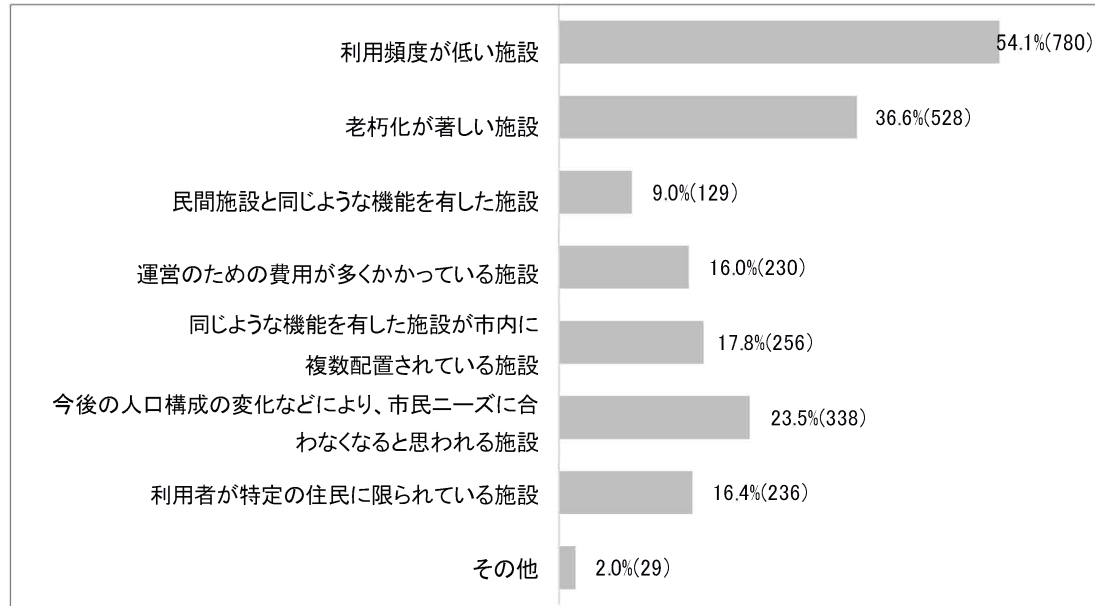


3) 統合・削減していくべき施設

経費削減のために公共施設の総量削減を行う場合、どのような公共施設から統合・削減していくべきかについては、「利用頻度が低い施設」が最も多く 54.1%を占めています。

次いで「老朽化が著しい施設」が 36.6%、「今後の人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなると思われる施設」が 23.5%となっています。

【統合・削減していくべき施設(複数回答)】

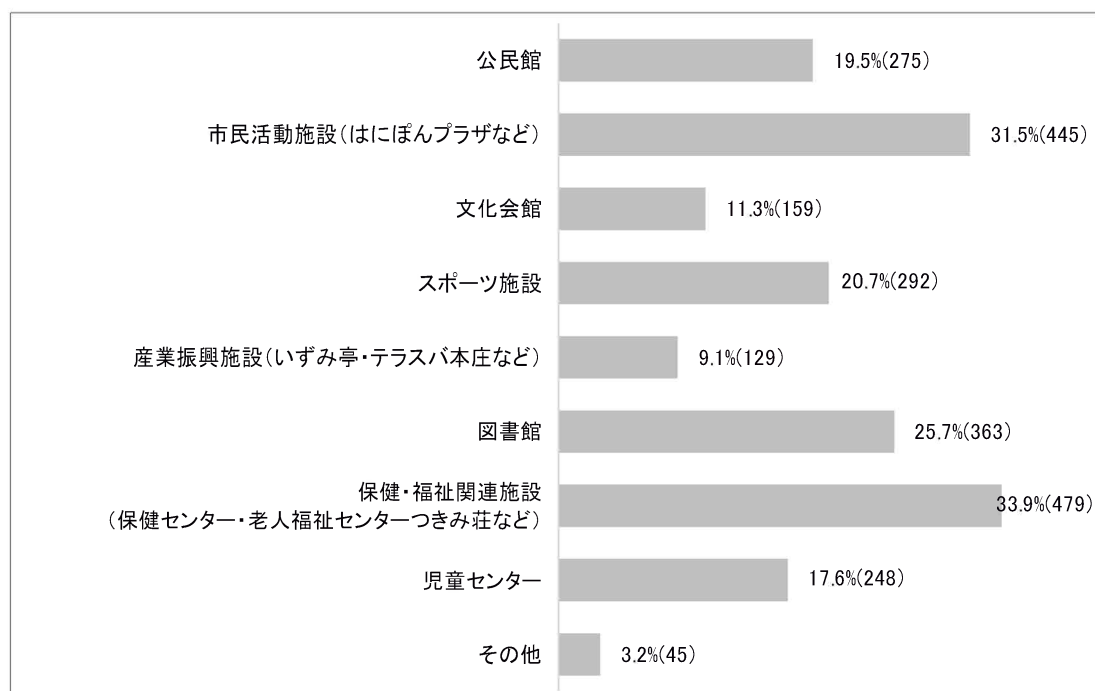


4) 優先的に維持・充実していくべき施設

公共施設の再編や見直しを行う場合、優先的に維持・充実していくべき施設については、「保健・福祉関連施設」と「市民活動施設」が共に 30%を超えています。

次いで「図書館」と「スポーツ施設」の順に回答が多くなっています。

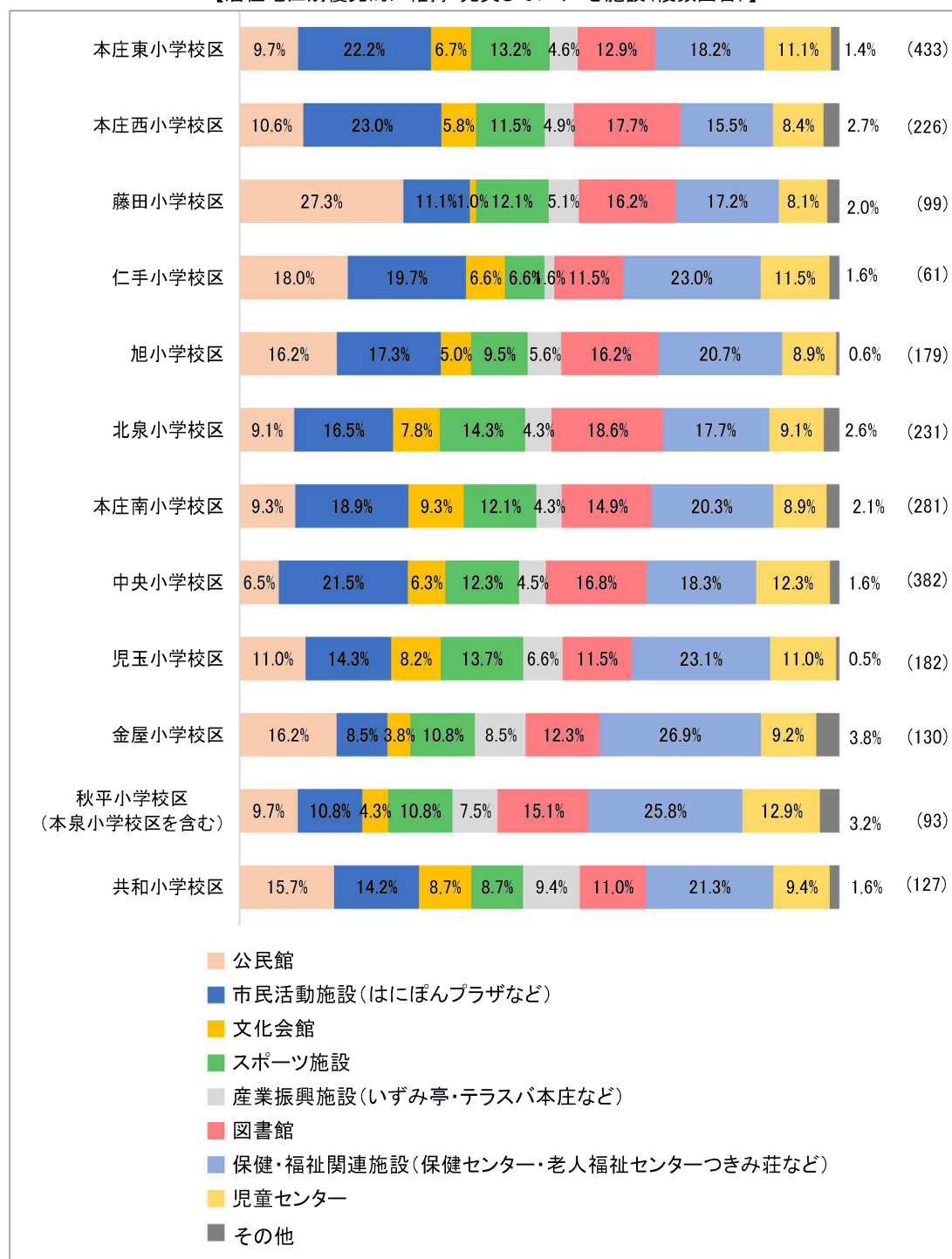
【優先的に維持・充実していくべき施設(複数回答)】



公共施設の再編や見直しを行う場合、優先的に維持・充実していくべき施設についての回答を回答者の居住地区別に見ると、仁手小学校区、旭小学校区、北泉小学校区、本庄南小学校区、児玉小学校区、金屋小学校区、秋平小学校区（本泉小学校区を含む）、共和小学校区の8地区では「保健・福祉関連施設」が最も多くなっています。

また、本庄東小学校区、本庄西小学校区、中央小学校区の3地区では「市民活動施設」、藤田小学校区では「公民館」が最も多くなっています。

【居住地区別優先的に維持・充実していくべき施設（複数回答）】



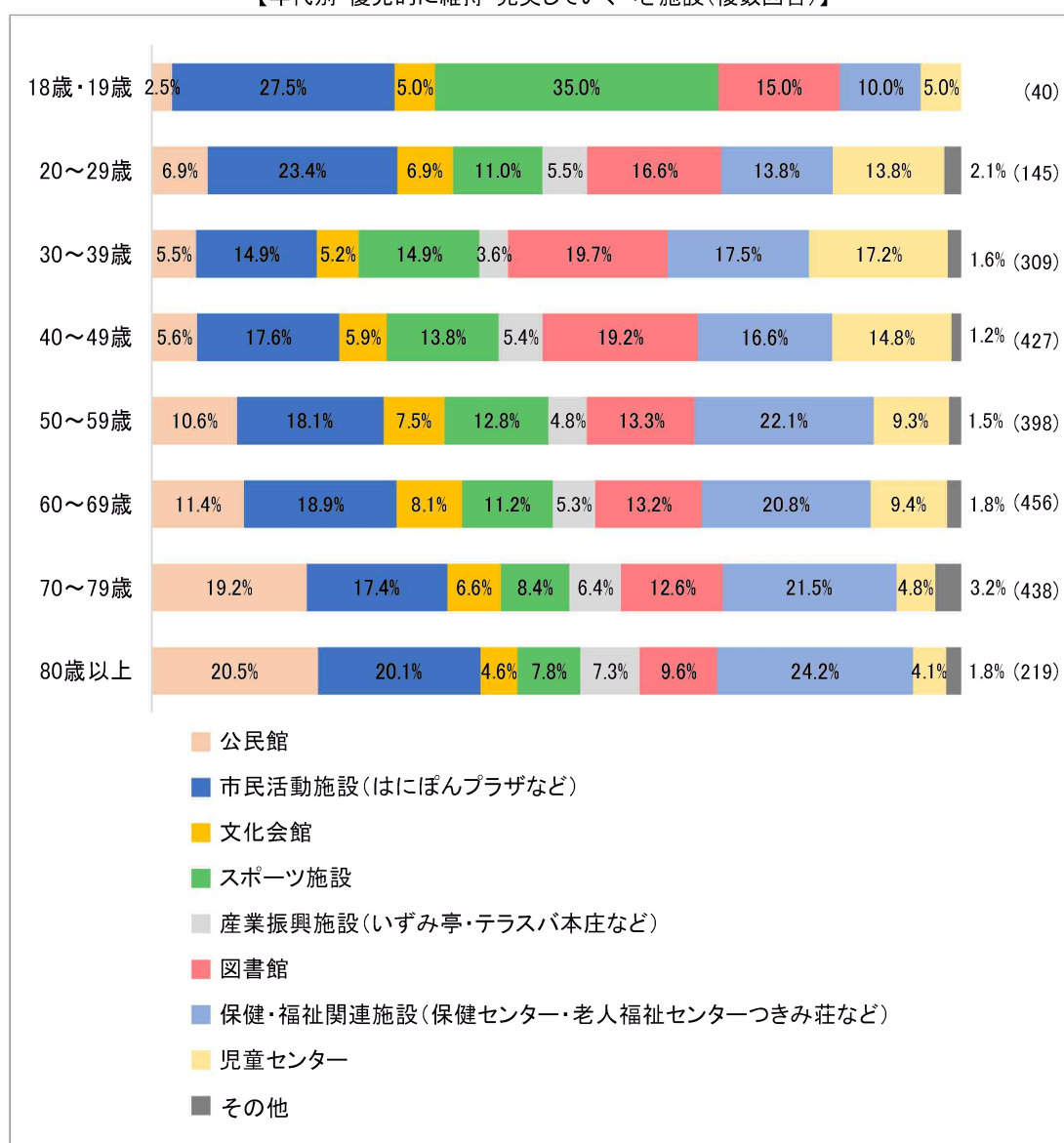
公共施設の再編や見直しを行う場合、優先的に維持・充実していくべき施設についての回答を回答者の年代別に見ると、年代ごとに傾向が異なっています。

特に「公民館」については、18歳・19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳では10%未満となっていますが、年代が上がるにつれ回答が多くなっており、70～79歳と80歳以上では約20%を占めています。

また、「保健・福祉関連施設」についても同様に、年代が上がるにつれ回答が多くなっていきます。

なお、18歳・19歳では「スポーツ施設」、20～29歳では「市民活動施設」、30～39歳、40～49歳では「図書館」、50～59歳、60～69歳、70～79歳、80歳以上では「保健・福祉関連施設」が最も多くなっています。

【年代別・優先的に維持・充実していくべき施設(複数回答)】

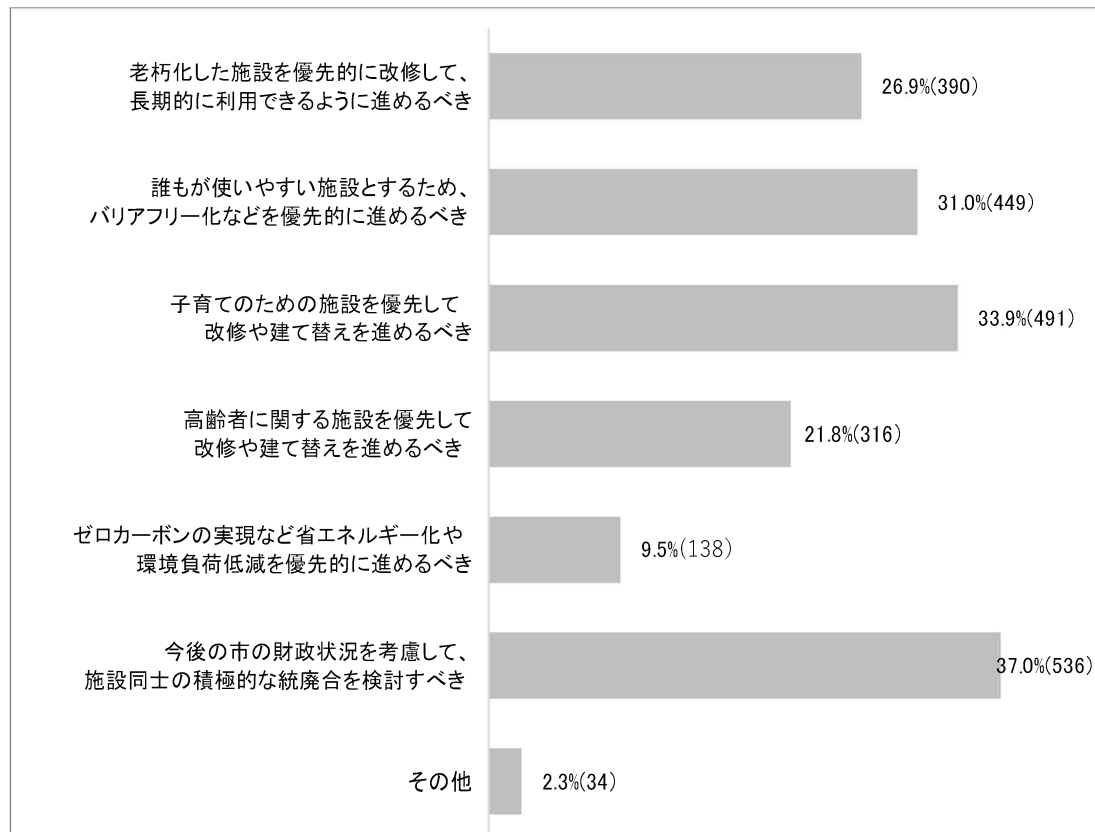


5) 特に重視すべき公共施設に関する施策や事業などの方針

今後、市が進めていく公共施設に関する施策や事業などの方針で特に重視すべきものについては、「今後の市の財政状況を考慮して、施設同士の積極的な統廃合を検討すべき」が37.0%と最も多くなっています。

次いで「子育てのための施設を優先して改修や建て替えを進めるべき」と「誰もが使いやすい施設とするため、バリアフリー化などを優先的に進めるべき」が共に約30%となっています。

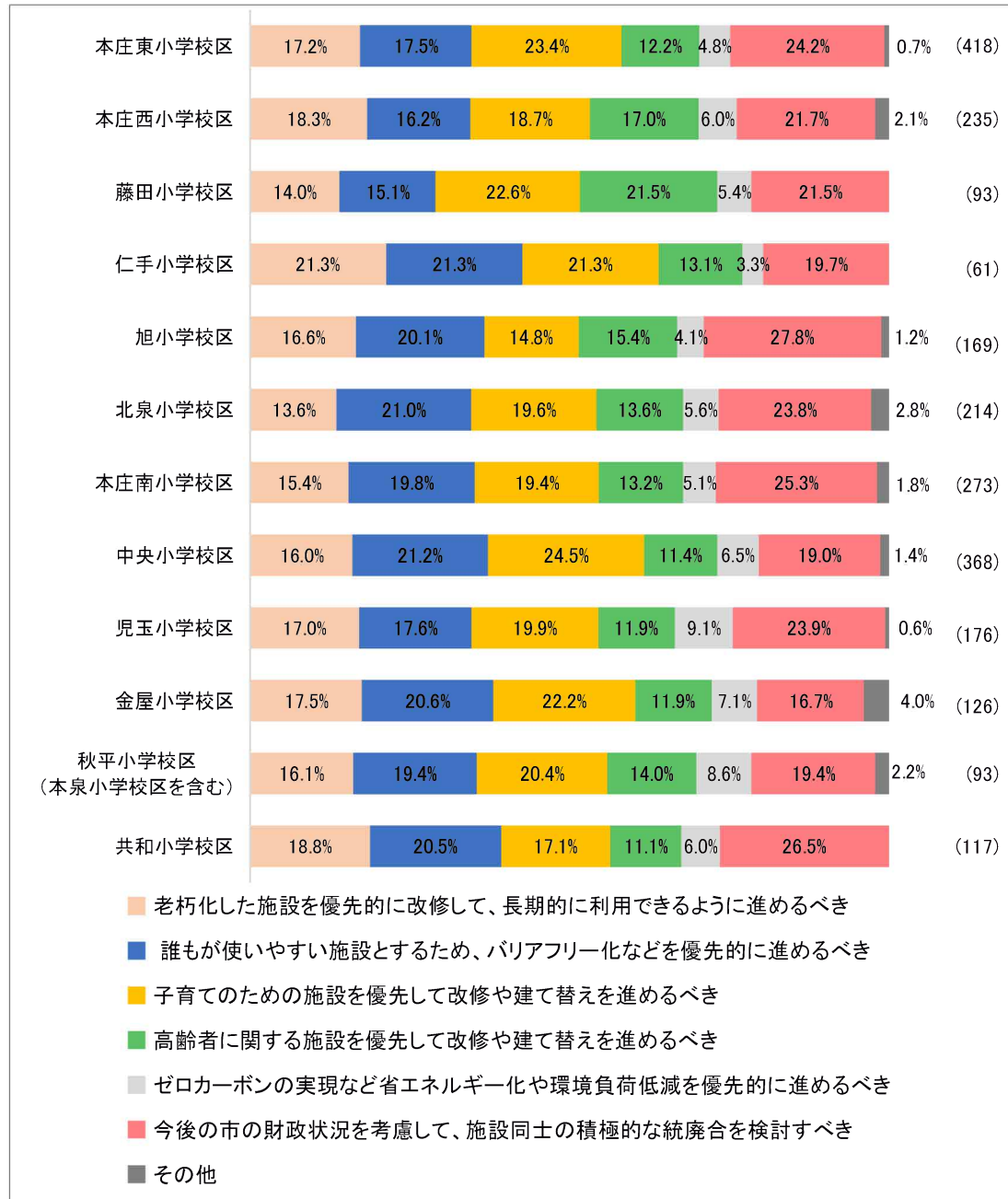
【特に重視すべき公共施設に関する施策や事業などの方針(複数回答)】



今後、市が進めていく公共施設に関する施策や事業などの方針で特に重視すべきものについての回答を回答者の居住地区別に見ると、本庄東小学校区、本庄西小学校区、旭小学校区、北泉小学校区、本庄南小学校区、児玉小学校区、共和小学校区の7地区では「今後の市の財政状況を考慮して、施設同士の積極的な統廃合を検討すべき」が最も多くなっています。

また、藤田小学校区、仁手小学校区、中央小学校区、金屋小学校区、秋平小学校区の5地区では「子育てのための施設を優先して改修や建て替えを進めるべき」が最も多くなっています（仁手小学校区は同率）。

【居住地区別特に重視すべき公共施設に関する施策や事業などの方針（複数回答）】



2. 公共施設の利用者アンケート調査

(1) 調査概要

公共施設の維持可能な規模を定め、行政サービスの維持・向上に向けた施設配置や効率的な管理運営を行っていくための各公共施設の見直し方針の検討に当たり、既存の公共施設利用者を対象に、施設利用に関するアンケート調査を実施しました。

調査施設	市内 15 施設
調査対象	各施設の利用者
調査方法	配布: 各施設の受付にてアンケート用紙を設置・配布 回答: 各施設に設置した回収ボックスへの投函 インターネット接続PC及びスマートフォン等の利用による回答(Web回答)
実施期間	令和5年5月 11 日～5月 31 日

1) 回答数

本調査の回答数は以下のとおりです。

【公共施設の利用者アンケート調査回答数】

No.	施設名称	紙面	Web	合計
1	市民活動交流センター(はにぼんプラザ)	832	6	838
2	児玉文化会館(セルディ)※	810	4	814
3	老人福祉センターつきみ荘	189	2	191
4	あさひ多目的研修センター	55	0	55
5	市民文化会館	302	8	310
6	本庄公民館	56	1	57
7	本庄東公民館	240	0	240
8	本庄西公民館	187	1	188
9	本庄南公民館	236	4	240
10	藤田公民館	192	0	192
11	仁手公民館	68	0	68
12	旭公民館	163	0	163
13	北泉公民館	91	2	93
14	共和公民館	192	1	193
15	児玉公民館	151	1	152
	合計	3,764	30	3,794

※「児玉文化会館(セルディ)」は「児玉中央公民館」を含む。

2) 調査項目

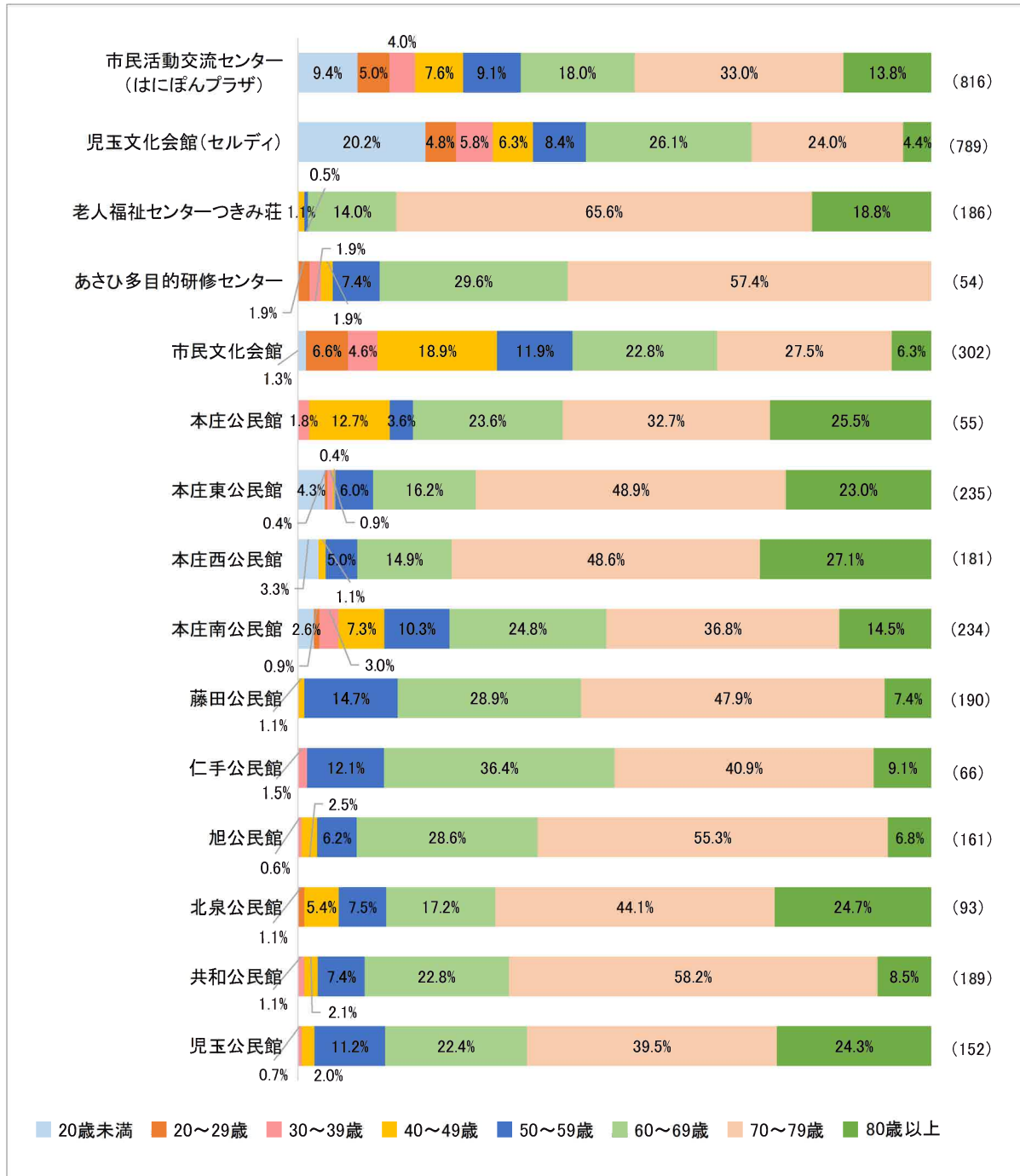
- ①回答者属性
- ②施設の利用目的・利用頻度、利用した場所(部屋)
- ③施設への交通手段・立地場所
- ④利用した施設の満足度(サービス面・建築物や設備・屋外施設)
- ⑤自由意見

(2) 調査結果（抜粋）

1) 回答者属性

回答者の年齢は、「児玉文化会館（セルディ）」では、「60～69 歳」が最も多くなっていますが、他の 14 施設は「70～79 歳」が約 30%から約 60%と最も多くなっています。

【回答者の年代比率】



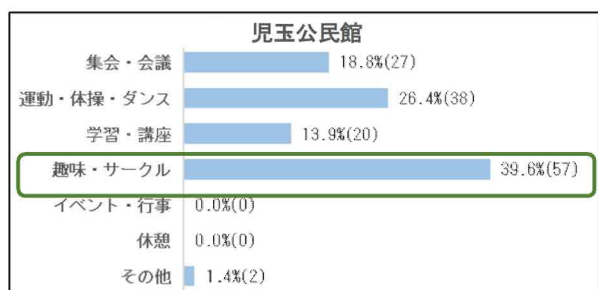
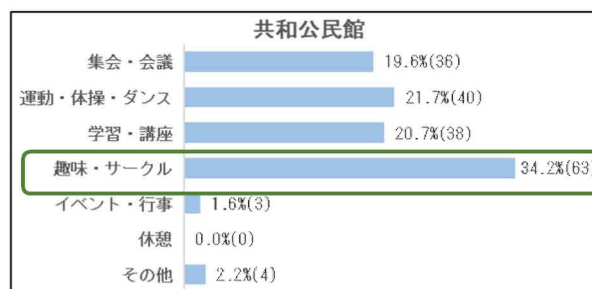
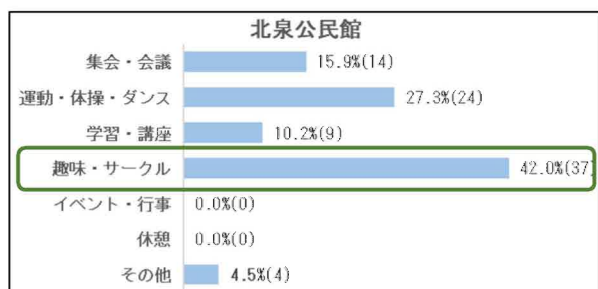
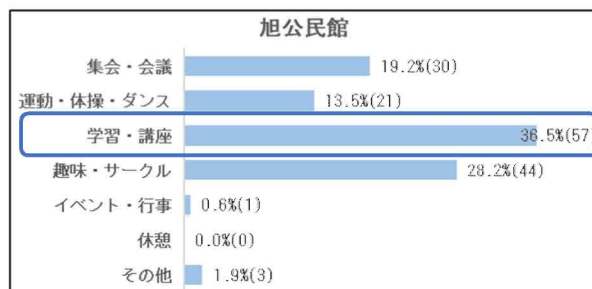
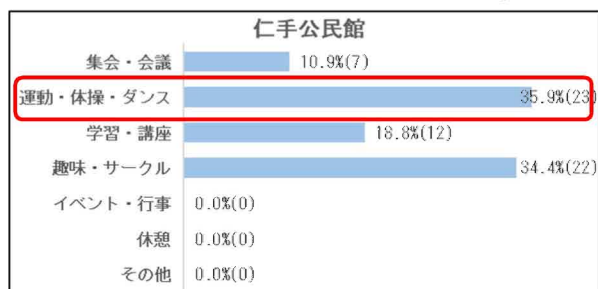
2) 施設の利用目的

回答者の施設の利用目的は、各施設の持つ機能によって一部の選択肢が異なりますが、「運動・体操・ダンス」の回答が最も多い施設が7施設、「趣味・サークル」の回答が最も多い施設が4施設、「学習・講座」の回答が最も多い施設が3施設、「集会・会議」の回答が最も多い施設が1施設となりました。

【施設の利用目的 1/2】



【施設の利用目的 2/2】



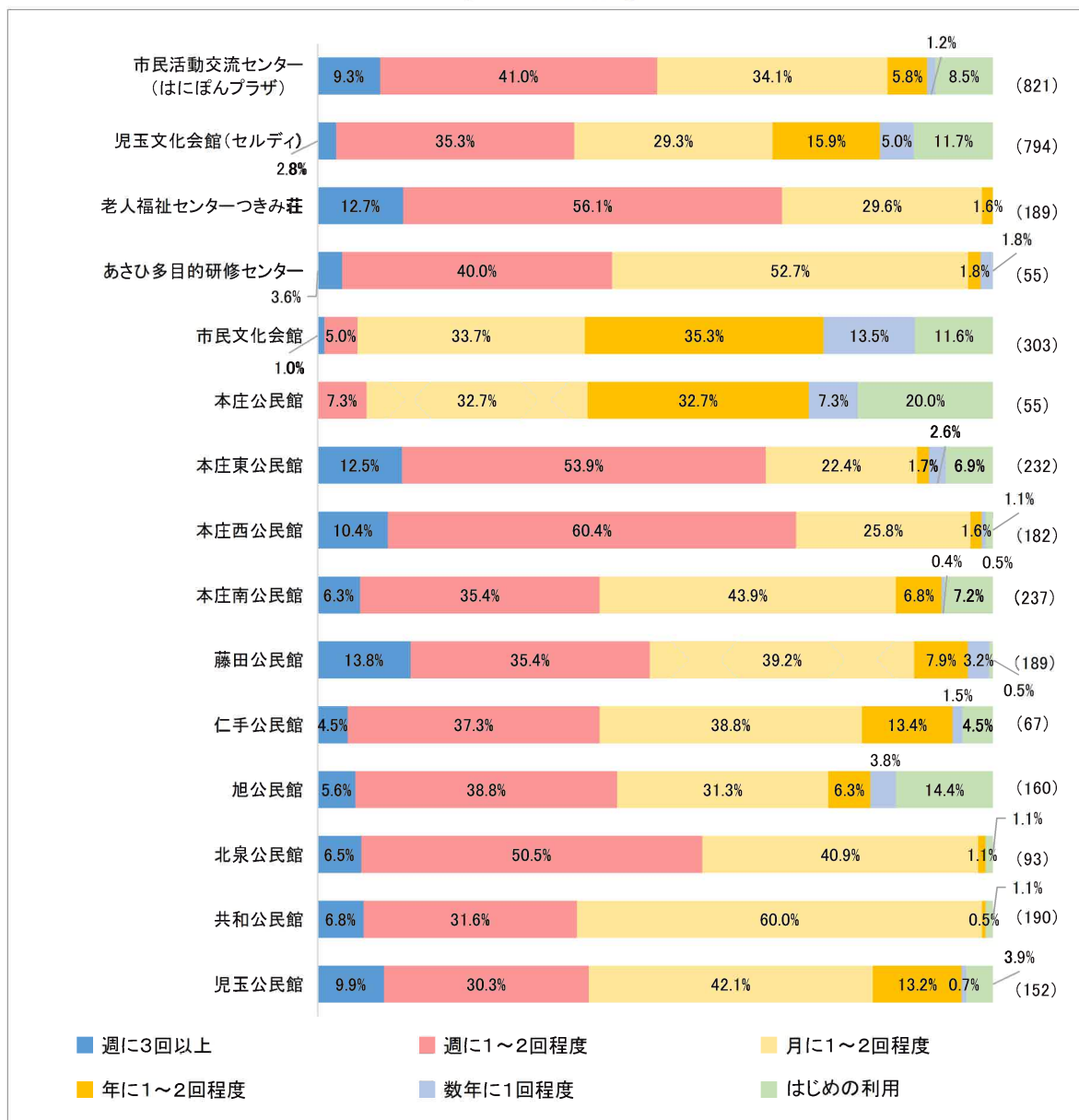
3) 施設の利用頻度

回答者の施設の利用頻度は、「市民活動交流センター（はにぼんプラザ）」、「児玉文化会館（セルディ）」、「老人福祉センターつきみ荘」、「本庄東公民館」、「本庄西公民館」、「旭公民館」、「北泉公民館」の7施設では、「週に1～2回程度」が約30%から約60%と最も多くなっています。

また、「あさひ多目的研修センター」、「本庄南公民館」、「藤田公民館」、「仁手公民館」、「共和公民館」、「児玉公民館」の6施設では、「月に1～2回程度」が約40%から約60%、「市民文化会館」では、「年に1～2回程度」が35.3%と最も多くなっています。

なお、「本庄公民館」は「月に1～2回程度」、「年に1～2回程度」が同数で最も多くなっています。

【施設の利用頻度】

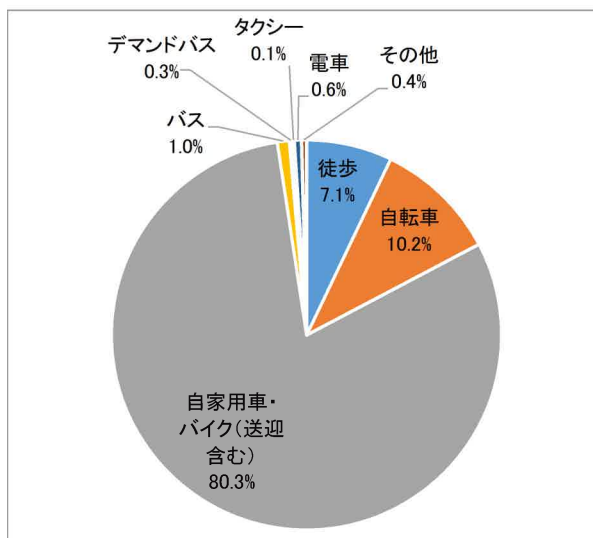


4) 施設への交通手段

回答者の施設への交通手段は、全ての施設を通じて「自家用車・バイク」が最も多く、約80%を占めています。

その他の交通手段では、「自転車」と「徒歩」が続いており、「バス」や「デマンドバス」等の公共交通の利用は僅かとなっています。

【施設への交通手段】



3. 本庄市立小・中学校の保護者・教員アンケート調査

(1) 調査概要

本庄市立小・中学校に就学している児童生徒及び、小学校未就学児（新入学児童）の保護者と教員を対象に、学校規模、学級数、通学距離及び時間、適正規模に関して重視すべき事項等の意識を把握し、集計・分析を経て「本庄市立小・中学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方」（以下「適正規模・適正配置の基本的な考え方」といいます。）の参考資料とするため、アンケート調査を実施しました。

調査地域	本庄市全域
調査対象	小・中学校児童生徒の保護者、小学校未就学児の保護者、小・中学校教員
調査方法	【小・中学校児童生徒の保護者及び小・中学校教員】 各学校にて配布・回答、またはインターネット接続PC及びスマートフォン等の利用による回答(Web回答) 【小学校未就学児の保護者】 郵送配布・郵送回答、またはインターネット接続PC及びスマートフォン等の利用による回答(Web回答)
実施期間	令和4年9月1日～9月30日(回答延長期間含む)

1) 配布数及び回答数

本調査の配布数及び回答数は以下のとおりです。

【本庄市立小・中学校の保護者・教員アンケート調査配布数及び回答数】

	保護者配布数 5,156 件	有効 データ数	回答率	教員配布数 422 件	有効 データ数	回答率
Webアンケート回答数	1,585 件	2,772 件	53.8%	241 件	347 件	82.2%
紙面回答数	1,203 件			111 件		
合計	2,788 件			352 件		

2) 調査項目

- ①回答者属性（学校、学年）
- ②教育環境について（重視すべき点、望ましい学級数とその理由）
- ③学校の今後の在り方（児童生徒数が減少した場合の教育環境、学校統合の検討）
- ④通学時間について（通学時間、スクールバス導入）
- ⑤自由意見

(2) 調査結果（抜粋）

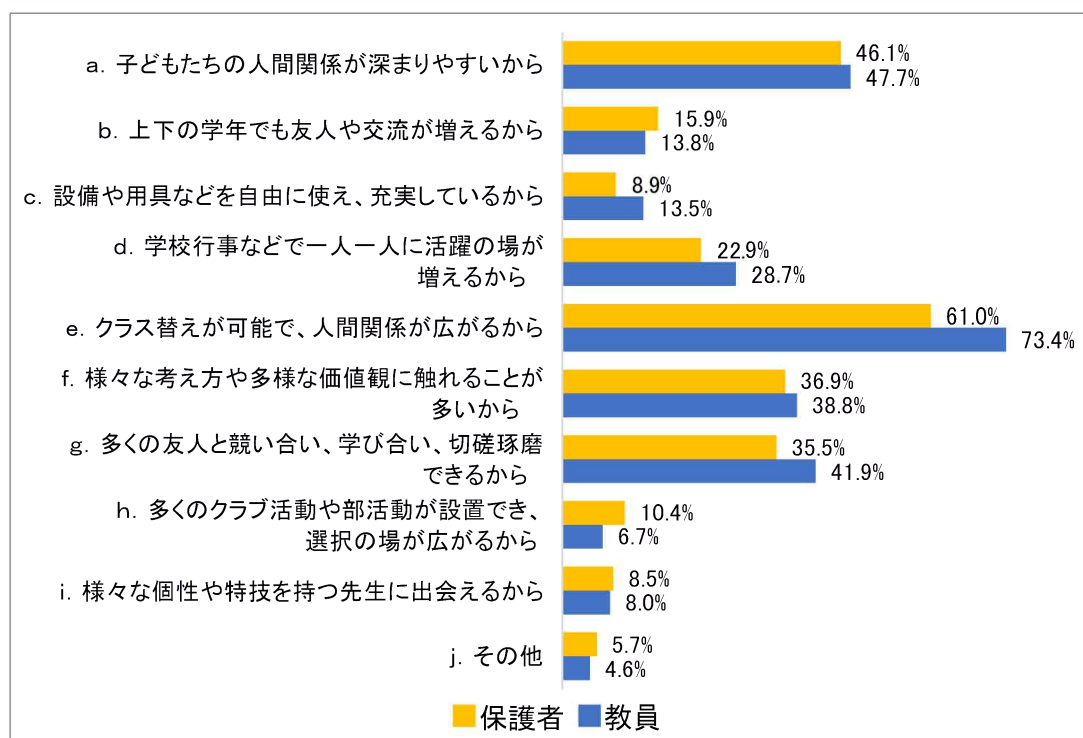
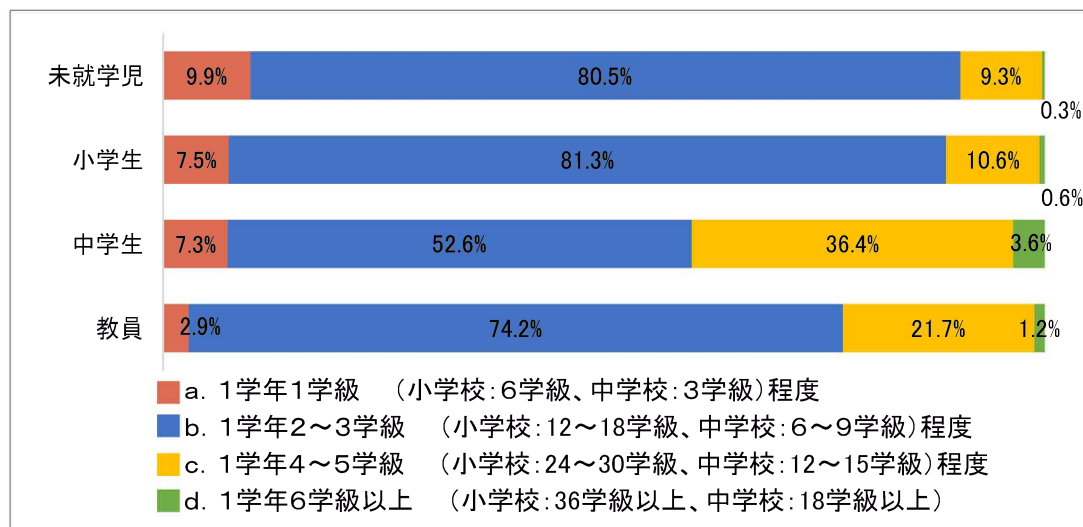
1) 望ましい学級数

アンケート調査結果では、保護者・教員共に約70%の回答者が「1学年2～3学級程度（小学校：12～18学級、中学校：6～9学級）」が望ましいと回答しています。また、それ以上の学級数が良いと選択した人を合わせると、90%以上が標準学級は超えていたほうが良いと回答しています。

保護者の属性では、未就学児と小学生の保護者では概ね同様の傾向となっていますが、中学生の保護者では「1学年4～5学級（中学校：12～15学級）程度」の割合が30%を超えています。

なお、望ましい学級数の選択理由は、保護者・教員共に「クラス替えが可能で、人間関係が広がるから」が最も多く、保護者では60%、教員では70%を超えています。

【望ましい学級数とその理由】



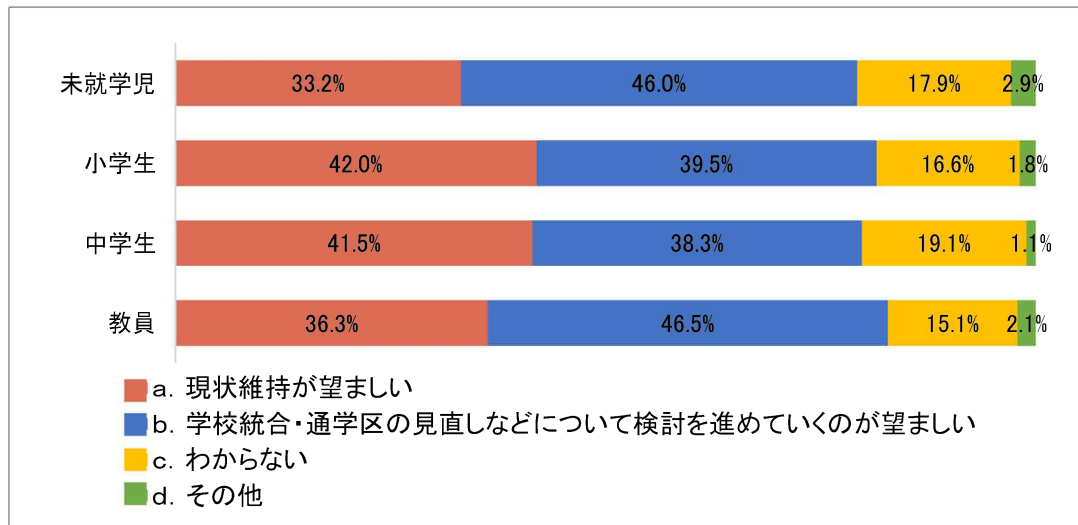
2) 児童生徒数が減少した場合の教育環境

小学生・中学生の保護者は「現状維持が望ましい」「学校統合・通学区の見直しなどについて検討を進めていくのが望ましい」が約40%となっています。

また、未就学児の保護者は「学校統合・通学区の見直しなどについて検討を進めていくのが望ましい」の割合が小学生・中学生の保護者より多くなっています。

教員では、「学校統合・通学区の見直しなどについて検討を進めていくのが望ましい」が40%を超えて最も多くなっています。

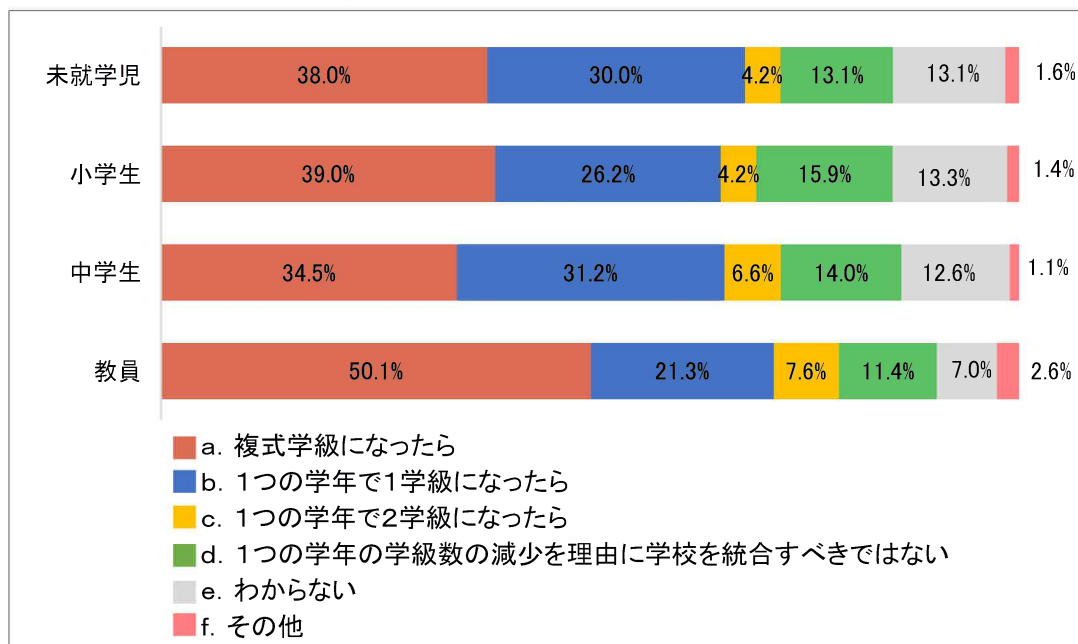
【児童生徒数が減少した場合の教育環境】



3) 児童生徒数が減少した場合の教育環境

学校統合の検討については、保護者・教員共に「複式学級になったら」が最も多く、次いで「1つの学年で1学級になったら」が多くなっています。

【児童生徒数が減少した場合の教育環境】



4. 市議会との意見交換会及び説明会の開催

本計画の作成に当たり、以下のとおり意見交換会及び説明会を開催しました。

説明会では、学校施設を含む公共施設の見直し方針等を説明するとともに、本庄市教育委員会からは5つの新しい教育環境の整備として、「学校規模の適正化」、「校舎の大規模改修」、「学校プールの集約化」、「屋内運動場（体育館）空調設備の設置」、「小中一貫教育の推進」について説明しました。

（１）開催概要

１）市議会との意見交換会

令和6年4月18日及び10月21日に、本庄市議会全議員21人参加のもと、意見交換会を開催しました。

２）自治会長及び学校運営協議会委員を対象とした説明会

令和6年5月に、市内の自治会長及び全学校の学校運営協議会委員を対象に、計4回の説明会を開催しました。

①開催場所・日時

開催場所	開催日	開催時間
①本庄市役所	令和6年5月7日（火）	午後6:00～午後8:00
②児玉文化会館（セルディ）	令和6年5月12日（日）	午前9:30～午前11:30
③本庄市役所	令和6年5月12日（日）	午後3:00～午後5:00
④児玉文化会館（セルディ）	令和6年5月14日（火）	午後6:00～午後8:00

②参加者数

	自治会長	学校運営協議会委員	合 計
①	17人	37人	54人
②	16人	14人	30人
③	16人	17人	33人
④	11人	8人	19人
合 計	60人	76人	136人

【開催風景】



3) 地区説明会

令和6年7月から8月にかけて、市民及び公共施設利用者等を対象に、市内12の小学校区単位での地区別説明会及び本庄地域・児玉地域の全体説明会、計14回の説明会を開催しました。

①開催場所・日時・参加者数

	地区名	開催日時	会場	参加者数
1	藤田小学校区	令和6年7月20日(土) 午前9:30～午前11:20	藤田公民館	29人
2	仁手小学校区	令和6年7月20日(土) 午後2:00～午後4:10	仁手公民館	30人
3	本庄南小学校区	令和6年7月21日(日) 午前9:30～午前11:00	本庄南公民館	5人
4	本庄東小学校区	令和6年7月21日(日) 午後2:00～午後3:30	本庄市役所	11人
5	児玉小学校区	令和6年7月28日(日) 午前9:30～午前11:00	児玉文化会館セルディ	13人
6	秋平・本泉小学校区	令和6年7月28日(日) 午後2:00～午後4:00	児玉文化会館セルディ	18人
7	本庄西小学校区	令和6年8月3日(土) 午前9:30～午前10:40	本庄市役所	10人
8	旭小学校区	令和6年8月3日(土) 午後2:00～午後4:20	旭公民館	33人
9	中央小学校区	令和6年8月4日(日) 午前9:30～午前11:00	本庄市役所	15人
10	北泉小学校区	令和6年8月4日(日) 午後2:00～午後3:50	北泉公民館	5人
11	金屋小学校区	令和6年8月17日(土) 午前9:30～午前11:00	児玉文化会館セルディ	11人
12	共和小学校区	令和6年8月17日(土) 午後2:00～午後3:30	共和公民館	72人
13	児玉地域全体	令和6年8月25日(日) 午前9:30～午前11:10	児玉文化会館セルディ	21人
14	本庄地域全体	令和6年8月25日(日) 午後3:00～午後5:00	本庄市役所	29人
参加者 総数				302人

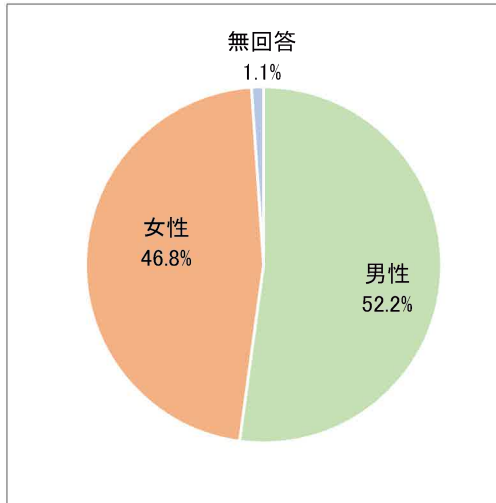
【開催風景】



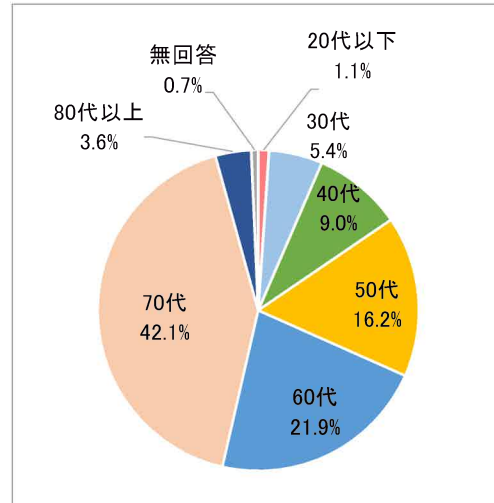
②アンケート回答者の属性

地区説明会では、参加者の属性を図る設問及び自由意見欄を設けたアンケートを実施しました。アンケートを提出いただいた 278 人の参加者の属性については以下のとおりです。

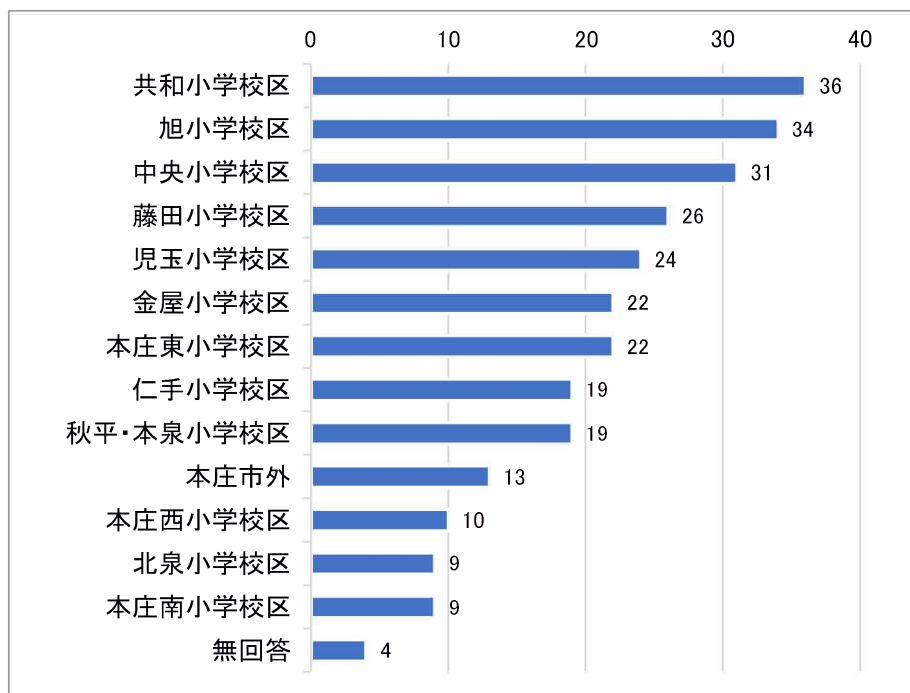
【回答者の属性(性別)】



【回答者の属性(年代)】



【回答者の属性(居住地区)】



(2) 意見等のまとめ

意見交換会及び説明会において、口頭質問及びアンケート内の自由意見欄で様々な意見等をいただきました。意見等の概要については、参考資料に掲載しています。